

## 主な腐食劣化箇所

Typical corrosion and deterioration cases



## 高耐食鋼撚線

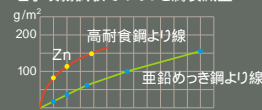
High anti-corrosion steel strand

海岸地帯などでは、ケーブルつり線として耐食性に優れたアルミ防食鋼撚線を使用していたが、一部に局部腐食や風圧振動による疲労破断の発生が見られた。これらの問題を解決するため亜鉛-アルミニウム合金をめっきした高耐食鋼撚線を開発した。

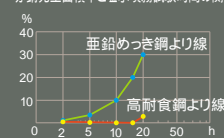


腐食事例(亜鉛めっき鋼より線)

塩水噴霧試験でのめっき腐食減量



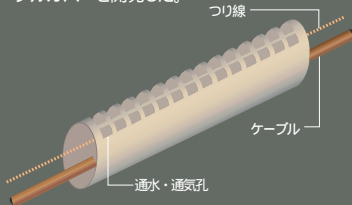
赤錆発生面積率と塩水噴霧試験時間の関係



## ケーブルカバー

cable cover

従来のケーブルカバーでは、カバーの構造上内部に水分(湿気)がたまりやすいことからケーブル吊り線が腐食促進される事例が発生した。そのため、通気性がよく、湿気が内部にこもらないケーブルカバーを開発した。



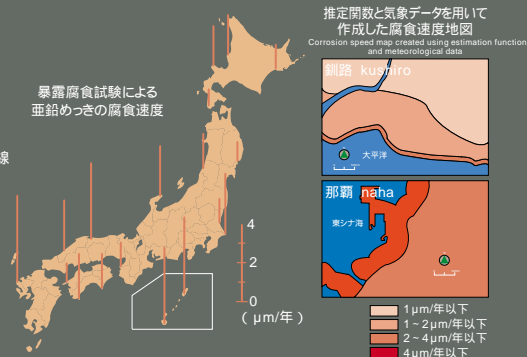
## 塩害腐食速度推定法

Evaluation of aggressiveness of salt damage corrosion

腐食に直接影響する気温、湿度、降水量や腐食促進物質である海塩粒子量を決定する風向、風速、海岸から距離によって塩害の程度を推定/定量化する方法である。

推定関数と気象データを用いて作成した腐食速度地図

Corrosion speed map created using estimation function and meteorological data



## マンホール付属金物防食工法

Corrosion protection technique for hardware inside manholes

マンホール内に設置している付属金物(ケーブル受け金物など)が腐食して、ケーブルが落下するという現象が発生していた。そのため、マンホール内に流電陽極を設置したり、防食金物を採用することにより付属金物の延命を実現したマンホール付属金物防食工法を開発した。



マンホール内金属金物の腐食状況



当防食工法適用状況